

林産物



北海道 留萌流域森林・林業活性化協議会 『留萌港からのトドマツ材(林産物)を韓国へ』

【主な品目】

トドマツ材(合板用原木)

【主な輸出先国・地域】

韓国

【輸出取組の概要】

- ◆ 利用期を迎えたトドマツ人工林材の販路拡大を検討
- ◆ 木材の集荷方法や移輸出先の木材需要状況などの情報収集及び留萌港を活用した木材移輸出の検討
- ◆ 商社及び北海道森林組合連合会と連携し、管内で需要の少ないトドマツ材の韓国輸出
- ◆ 森林所有者に対するトドマツ人工林からの間伐収入増と森林整備(間伐)の促進

【輸出実績】

※商社等との連携分(H27.9 時点)

	輸出額(千円)	輸出量(m3)	出荷時期
平成27年度	—	2,500	主に秋から春
平成26年度	—	6,126	



韓国向けトドマツ材を運ぶバルク船が留萌港に入港(H26.5.31)

【取り組む際に生じた課題】

- ・バルク船での輸出は多くの集荷が必要なことから地元事業者の協力が不可欠。
- ・原木輸出は、相手国の経済事情、木材市場に影響されることが大きい。
- ・道内での木質バイオマス発電施設稼働に伴う木材流通・市況の変動が不透明。

【生じた課題への対応方法】

- ・近隣地域との集荷体制の強化と情報の共有化。
- ・韓国でのトドマツ材の評価や木材流通実態を把握するため現地調査を実施。
- ・安定的に供給を行うため、道有林・私有林の共同出荷、路網の整備の検討。



留萌港でトドマツ材がバルク船に積み込まれる様子(H26.6.2)

【取組の効果】

- ・伐採現場から近い港での取引による運搬経費の軽減に伴う木材販売収入の増加。
- ・既存港湾施設の有効活用及び荷役等の作業員雇用の確保。
- ・木材販売収入増による森林所有者の間伐意欲増進と適正な森林整備の推進。



韓国でトドマツの仕様や木材流通の実態調査を実施(H27.2.26)

【今後の展望】

- ・韓国内の木材需給バランスを見据えたトドマツ材の輸出。
- ・地元・近郊の林業事業者・商社等との情報共有と連携の強化。
- ・安定供給体制を確立し、地元における木材加工施設の新設等関連産業の育成。

【活用した施策】 北海道「地域の海外発信力強化事業」 るもい[間伐材輸出促進]プロジェクト(平成27年2月)

【ウェブサイト】 <http://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srs/>

【連絡先】 担当者名:留萌振興局森林室 渡辺 TEL:0164-42-8462